

木嶋被告に死刑判決



発行所
山形新聞社

山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023(622)5271

Copyright (c) 2012
Yamagata Shimbun

2012年
4月13日
〈金曜日〉

速電
報版子

購読申し込み
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた
ニュースオンライン

<http://yamagata-np.jp>

Mbi | eやましん

<http://yamagata-np.jp/mobile/>



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

さいたま地裁

3人の殺害を認定

首都圏の連続不審死



木嶋佳苗被告

首都圏の連続不審死事件で、交際男性3人への殺人罪などに問われた無職木嶋佳苗被告(37)の裁判員裁判の判決で、さいたま地裁(大熊一之裁判長)は13日、求刑通り死刑を言い渡した。



首都圏の連続不審死事件判決のため、さいたま地裁に向かう検察官ら = 13日午前9時32分

殺害の直接証拠がない中、検察側は木嶋被告が3人と死亡直前に会っていた上、いずれの現場にも事前に購入した練炭やこんろがあったなどの共通点を指摘。「三つの殺人事件の犯人は全て木嶋被告」と主張していた。弁護側は、3人は木嶋被告が持ち出した別れ話の原因の自殺か、火災による事故死とし

首都圏の連続不審死事件
2009年8月、埼玉県内で大出嘉之さんの遺体がレンタカーから見つかった。車の鍵がないなど不審な点が多く、埼玉県警は殺人事件とみて捜査。婚活サイトで知り合った交際相手の木嶋佳苗被告が浮上した。同様に交際していた東京都青梅

市の寺田隆夫さんが同2月、千葉県野田市の安藤建三さんが同5月にいずれも自宅から遺体で見つかった。埼玉県警は10年2月、大出さん殺害の疑いで木嶋被告を逮捕。警視庁が同10月に寺田さん、千葉県警が同12月に安藤さんへの殺人容疑で逮捕した。

「疑わしい事件が3件あるからといって、有罪にはならない」と反論していた。1月5日に選任された裁判員6人の在任期間は100

日で、2009年5月に制度が始まった裁判員裁判で最長。木嶋被告は09年1月に東京都青梅市の会社員寺田隆夫さん(当時53)を、同5月に千葉県野田市の無職安藤建三さん(同80)、同8月には都内の会社員大出嘉之さん(同41)をそれぞれ殺害したなどとして、起訴された。